

地域包括支援センター坂下通信

認知症地域支援推進員をご存知ですか？

国がすすめている「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」にある施策として市町村に認知症地域支援推進員を置くことになりました。春日井市では、平成30年度から春日井市社会福祉協議会に配置されています。

認知症の人やその家族が自分らしく暮らせるよう、地域活動のお手伝いをしています。その1つとして※1「認知症サポーター養成講座」の開催や※2「かすがいおれんじプラスカフェ（認知症カフェ）」の普及を支援しています。

※1 認知症サポーター養成講座とは

「認知症サポーター養成講座」を受けた人が「認知症サポーター」です。認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になっていただくものです。地域や職域・学校などで認知症の基礎知識について、またサポーターとして何ができるかなどについて学びます。



※2 かすがいおれんじプラスカフェとは

店舗に認知症サポーター養成講座をうけた認知症サポーターがおり、認知症の人や家族が地域住民と一緒に安心して過ごすことができるお店として市に登録しています。市のホームページにも紹介されています。

春日井市認知症地域支援推進員 野崎 様より

「認知症サポーター養成講座」の開催の要望 や「かすがいおれんじプラスカフェ」に協力してくれそうな店舗を知っているなどの情報をお寄せください。

春日井市社会福祉協議会 地域活動支援課 ☎85-4321



地域包括支援センター坂下

春日井市神屋町 1306-1

☎：93-1314

開所時間：月～金曜日 9:00～17:30

出前講座開催、福祉サービス等の



ご相談は 左記まで

担当：飯田、戸田、永杉、杉山、加藤

地元のお元気さん



このコーナーでは、毎回地域で活動している団体やグループ、介護予防に取り組んでいる方などをご紹介します。

交通安全指導員

交通安全協会会長、春日井警察署長、春日井市長からの委嘱を受けて交通安全についてのボランティア活動をされています。坂下地区では、リーダーの櫻井様を含め8名の交通指導員のみなさんが青い制服を着用し、活躍されています。子ども達の通学日の登校時間に合わせ交差点や通学路に立ち、交通誘導などをしたり、交通安全運動等の時は、街頭に立ち「シートベルト着用」などの札を持ち、道行く方々に向けて交通安全の呼びかけをされています。



坂下地区リーダー 櫻井様は17年間活躍されています。「子ども達が安全に通学してもらえるように」という気持ちで交通誘導をされているそうです。

岡崎様は20年間活躍されています。「何人かの子ども達がいつも握手していってくれます。子ども達から元気をもらいます」と笑顔。



講演会のお知らせ

認知症についての市民シンポジウム

日時：2019年11月30日（土）13：00～15：50 開場12：30

場所：小牧市まなび創造館 あさひホール（ラピオビル5階）

小牧市小牧3丁目555番地

第1部 基調講演 13：20～14：20 講師：国立長寿医療研修センター病院長 鷲見 幸彦
「認知症について～病気のこと、予防のこと～」

第2部 シンポジウム 14：30～15：50
「認知症の方を地域で支える ～認知症初期集中支援チームの実践～」

参加無料、申し込み不要、定員300名

主催、問い合わせ先：特定医療法人晴和会 あさひが丘ホスピタル ☎88-0284（代表）

地域包括支援センターとは？

地域包括支援センターは、春日井市の委託により運営される高齢者に関する総合相談機関です。支援が必要な高齢者やその家族の状況に応じた各種の保健福祉サービスが総合的に受けられるよう、情報提供や関係機関との連絡調整などを行います。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

